

「公印省略」

7 建技調第 21 号-4
令和 7 年 10 月 9 日

関係各位

公益財団法人 福岡県建設技術情報センター理事長

令和 7 年度 建設技術等講習会
『第 15 回 技術講習会』について（ご案内）

当財団では、情報事業の一環として、「民間等で開発された新しい建設技術やリサイクル、環境及び IT 関連の建設技術等の普及・支援」を目的に、建設技術等講習会を実施しております。

この度、一般社団法人福岡県のり面協会からの申し入れにより、標記講習会を下記のとおり開催することとなりました。

つきましては、多くの方々にご参加いただきたく、ご案内申し上げます。

記

- 1 講習会名 令和 7 年度 建設技術等講習会
『第 15 回 技術講習会』
- 2 主催者 一般社団法人 福岡県のり面協会
協力 公益財団法人 福岡県建設技術情報センター
- 3 開催日 令和 7 年 10 月 22 日（水）
13：10～17：00（12：40 より受付開始）
- 4 場所 福岡県建設技術情報センター 3 階大研修室
駐車台数に限りがありますので、公共交通機関のご利用もしくは 相乗りをお願いします。
- 5 定員 120 名
（定員になり次第締め切らせて頂きます。受講決定の通知は行いませんが、定員を超える申込があり、受講できない場合についてはお知らせいたします。）
- 6 受講料 無 料
- 7 申込方法 ホームページより WEB 申込（URL <http://fcti.jp/>）
- 8 申込締切 令和 7 年 10 月 17 日（金）
参加を希望される方は別紙様式にて当財団あて、FAX によりお申し込み願います。
- 9 問合せ先 （公財）福岡県建設技術情報センター
試験研究課 調査研修係 田島・長野
〒811-2416 糟屋郡篠栗町田中 3 丁目 10 番 20 号
TEL 092-947-2643 FAX 092-947-2504

令和7年10月吉日

関係者各位様

一般社団法人 福岡県のり面協会

代表理事 坪井真二

技術講習会のご案内

拝啓 平素は格別のご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

一般社団法人福岡県のり面協会は、のり面工事のほか福岡県内のあらゆる防災事業を通じて、地域での社会貢献と専門技術の普及および技術の啓発、人材の育成などを促進するため様々な取り組みを行っています。

今回、福岡県建設技術情報センターにおきまして当協会主催による技術講習会を開催することになりました。講習内容につきましては別紙ご案内の通りですが、当日は安福規之様の「道路切土のり面の調査・設計・施工・維持管理」特別講演のほか、会員各社より専門技術・工法などを分かりやすくご紹介したいと考えております。福岡県のり面協会では、この様な催しを継続的に開催したいと思っていますので皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。ご多用中とは存じますが万障お繰り合わせの上、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

なお、本講習会は「CPDS認定講習会」となっており、講習会終了後に、受講証明書を発行いたします。学習履歴の申請は受講者で行ってください。

敬具

一般社団法人 福岡県のり面協会

第15回 技術講習会プログラム

会場：福岡県建設技術情報センター

福岡県粕屋郡篠栗町田中 3 丁目 10 番 20 号

TEL: (092)-947-2591

1. 受付時間：令和7年10月22日（水）12時40分～13時10分

2. 開催挨拶（13時10分～13時15分）

・一般社団法人福岡県のり面協会 会長挨拶（坪井真二）

・来賓挨拶（福岡県建設技術情報センター 理事長）

3. 第1講座 （13時15分～13時45分）

演題：「ニューレスプ工法」「FSCパネル」

講師：日特建設（株） 竹内仁哉

4. 第2講座 （13時45分～14時15分）

演題：「発生源対策型落石予防工の効果と事例紹介」

講師：日本植生（株） 梶田真宏

5. 第3講座 （14時15分～14時45分）

演題：「法面点検階段」

講師：和新工業（株） 長澤和弘

6. 第4講座 （14時45分～15時15分）

演題：「ストーンウォール工法」

講師：（株）吉浦 久保洋喜

7. 特別講演（15時20分～16時50分）

演題：「道路切土のり面の調査・設計・施工・維持管理」
～地域性を反映した技術指針（案）とその運用～

講師：安福規之

九州大学名誉教授

工学博士

名誉博士（モンゴル科学アカデミー）

所属 一社）九州建設技術管理協会 学術顧問

8. 閉会挨拶（16時50分～）（千代西尾 副代表理事）

CPDS（4unit）学習プログラム番号「1012745」

※この講習会は全国土木施工管理技士連合会の CPDS 認定講習会です。講習終了後に受講証明書を発行いたします。学習履歴の申請は受講者で行ってください。